



黒須大一郎 議員
(白和)

問 柴山沼を水辺の観光地に

釣り愛好家から埼玉の琵琶湖と言われる柴山沼、ミズベリング※の活用も行われている。沼の安全性と環境保全が図られ、全ての利用者が楽しめるように栈橋や駐車場等を有料化も視野に入れた施設整備を進め、もっと水辺の観光地化を進めることができないか。

※ミズベリングとは、新しい水辺の活用の可能性を切り開くための官民一体の協働プロジェクトです。

答 新たな駐車場の整備について検討する

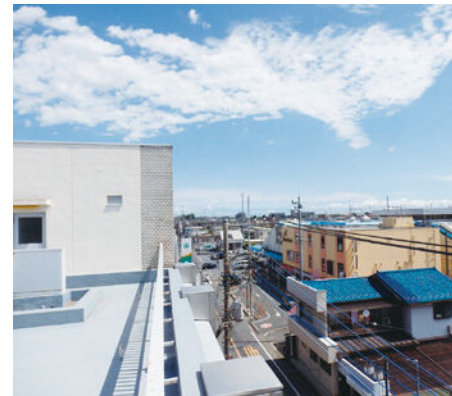
市でも、柴山沼でのイベントの開催時における駐車場の必要性を認識しており、駐車場の整備について検討する。今後もイベント等を通して柴山沼の活用の可能性を探るとともに、地域や関係団体と協働して柴山沼の魅力向上に向けた取組を推進していく。

問 未来を見据えた社会基盤を

白岡駅西口駅前広場の整備計画（西口線開通を含めて13年度に整備完了）によって都市銀行や店舗が駅前から離れた場所に移転する。中心市街地の活性化・にぎわいを生む新たな会社・店舗の進出や人を呼び込む（滞留する）ための政策はあるのか。

答 都市計画の変更や空き店舗対策を進める

白岡駅西口周辺の都市基盤整備に合わせ、用途地域などの都市計画の変更や空き店舗対策などの施策を進める。また、白岡駅周辺の商業の活性化やにぎわいの創出が図られるよう市民の皆様や事業者、商工会、商店会などと連携、協働してまちづくりを進めていく。



県道白岡停車場南新宿線と白岡駅西口



松本栄一 議員
(白和)

問 U字溝^{ふたか}の蓋掛けを

U字溝の蓋掛けは、進捗状況を何度も確認しているが、要望に対する未着手件数はなかなか減少しない。蓋は2種類あり、古いU字溝は現在の蓋では対応できないようである。数年前に要望した古いU字溝の地区は、どのように措置するのか。

答 優先順位を付けながら対応していく

蓋を架けることができないU字溝は、U字溝自体を交換する必要があるため、今後は蓋架け事業ではなく、道路改築事業として優先順位を付けながら、対応していく。

問 ふるさと納税をどうするのか

寄附額に対する住民税の減収の多さなど、返礼品競争は自治体の努力を超えているとして返礼品を無しとしている自治体もある。市は企業版ふるさと納税を活用するとしたが、県内では「ラボたま※」を活用している例もあり、企業への発信をどのようにするのか。

答 企業版ふるさと納税制度の活用を図る

ふるさと納税は、特産品のブランディングのツールという側面もあることから、返礼品の充実などに努めていく。企業版ふるさと納税は、市職員や成果報酬型の業務委託の方法により、市への寄附を企業に対して積極的に働き掛けていく。



人気の返礼品の一例

※ラボたまとは、県内における地域課題の解決や地域の魅力発信に取り組む企業で、企業版ふるさと納税制度の活用に関するコンサルティング等を実施しています。